

第242期
営業中間報告書
平成28年4月1日～
平成28年9月30日

16 SMILES report

じゅうろくスマイルズレポート

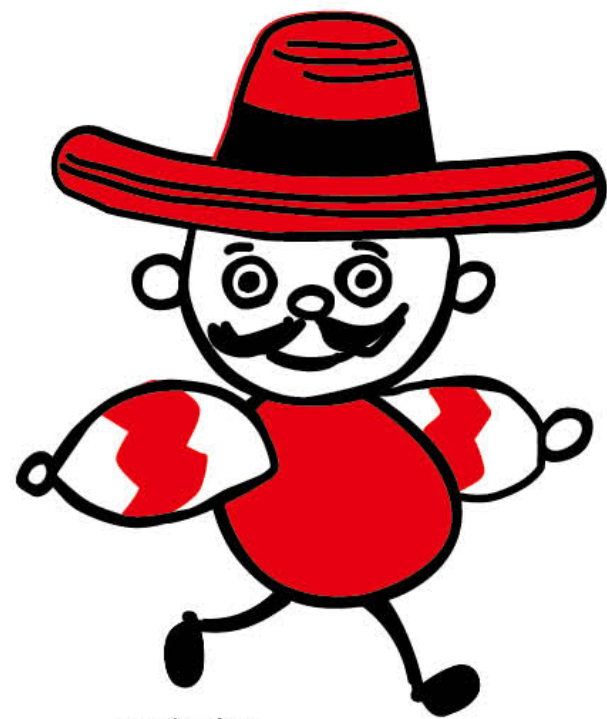
地域の活性化に向けて
ともに支える

Local

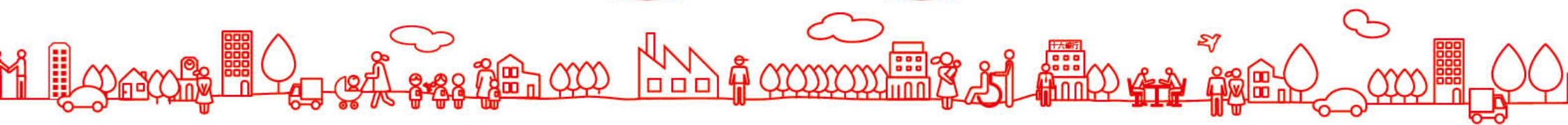
創生



タマルーにや®



フエルーちょ®



【十六銀行の旬な情報TOPICS】

個人向け休日営業サービス

「ホリデーじゅうろく」

いつでもどこでも気軽に予約

「ご来店予約サービス」

スマホアプリ新サービス

「スマートフォン通帳機能」

名古屋市営地下鉄東山線本郷駅北口に

「本郷支店」新築移転オープン!

大垣市

◎大垣公園と 美登鯉(みどり)橋

大垣城で有名な大垣公園、
美登鯉橋などが架かる水門川
沿いは人気の散策スポットです。

写真提供：大垣市



今注目を集める 岐阜エリア



岐阜市

岐阜城と金華山

岐阜城跡として国史跡に指定される
金華山一帯。2017年は信長公入城
450年を迎えます。



飛騨市

◎飛騨市町並みと 飛騨古川駅

美しい里山の風景が広がる飛騨市。
中でも飛騨古川駅は「聖地」として
話題を集めています。

写真提供：飛騨市



八百津町

◎杉原千畝記念館

ビザ発給で多くの命を救った
杉原千畝。2017年のユネス
コ世界記憶遺産登録を
目指します。

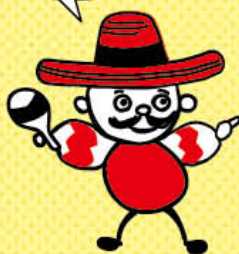
皆さまのお手元に
お届けします。



株主優待の ご案内

十六銀行の株主優待は
地方創生をテーマに
東海三県の名産品を
お届けしています。

商品内容は
コチラ!



「夏」の株主優待

毎年3月31日現在、1,000株以上
お持ちの株主さまに対し、「高賀
の森水」1箱(500ml・24本入)を
贈呈いたします。



「冬」の株主優待

毎年9月30日現在、5,000株以上
お持ちの株主さまに対し、岐阜県・
愛知県・三重県の名産品のなかから
選択された一品(3,000円相当)を
贈呈いたします。



※夏の株主優待は1,000株以上、冬の株主優待は5,000株以上お持ちの株主さまとなります。

TOP MESSAGE トップメッセージ

私たちは、
お客さまとの「エンゲージメント1st (ファースト)」を
確立するために、全力で行動してまいります。



取締役頭取 **村瀬幸雄**



平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や平成28年9月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ミニディスクロージャー誌を発刊いたしました。

金融機関を取り巻く環境をみますと、他業態を含めた競争の熾烈化に加え、未曾有の金融緩和と政策の影響による低金利の長期化が予想され、依然として厳しい収益環境が続くとみられます。また、人口減少や少子高齢化、ネット社会の急速な進展など、社会経済構造の変化が一段と進むなか、地域金融機関に対しては、金融仲介機能の発揮とともに地域経済の活性化や発展など「地方創生」への積極的な関わりが求められています。

こうしたなか、当行は、お客さまとの関係性を双方向で強化することを最優先の行動基軸とする「エンゲージメント1st (ファースト)」を確立し、お客さまの夢の実現や発展に貢献するなかで、お客さまや地域とともに持続的な成長を成し遂げていかなければなりません。

平成28年度は、「第13次中期経営計画～All For Your Smile ところにひびくサービスを～」の仕上げの一年であり、お客さまを起点とするサービスの品質向上や業務改革などに引き続き取り組むなかで、計画目標の達成に向け全力で行動してまいります。

こうした取組みを通じて、「持続的な成長力を備え、真に頼りにしていただける地域金融機関」を目指し、一層の企業価値の向上に邁進してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

【基本方針】

十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する。

十六銀行は広い視野に立ち、つねに合理性を貫き堅実な経営により発展をはかる。

十六銀行はすべての職員が安定した生活ができるよう努力する。

【経営方針】

頼りにしていただける銀行

充実した銀行

行動する銀行

当行の概要

(平成28年9月30日現在)

創業

……………明治10年10月

本店所在地

……………岐阜市

営業拠点数

本支店 ……………148か所

出張所 ……………12か所

付随業務取扱事務所 ……1か所

ローンサービスセンター ……19か所

海外駐在員事務所 ……4か所

(香港・上海・シンガポール・バンコク)

店舗外ATM ……………260か所

資本金 ……………368億円

従業員数 ……………3,379人

預金等残高 ……………5兆4,379億円

※譲渡性預金含む

貸出金残高 ……………3兆9,661億円

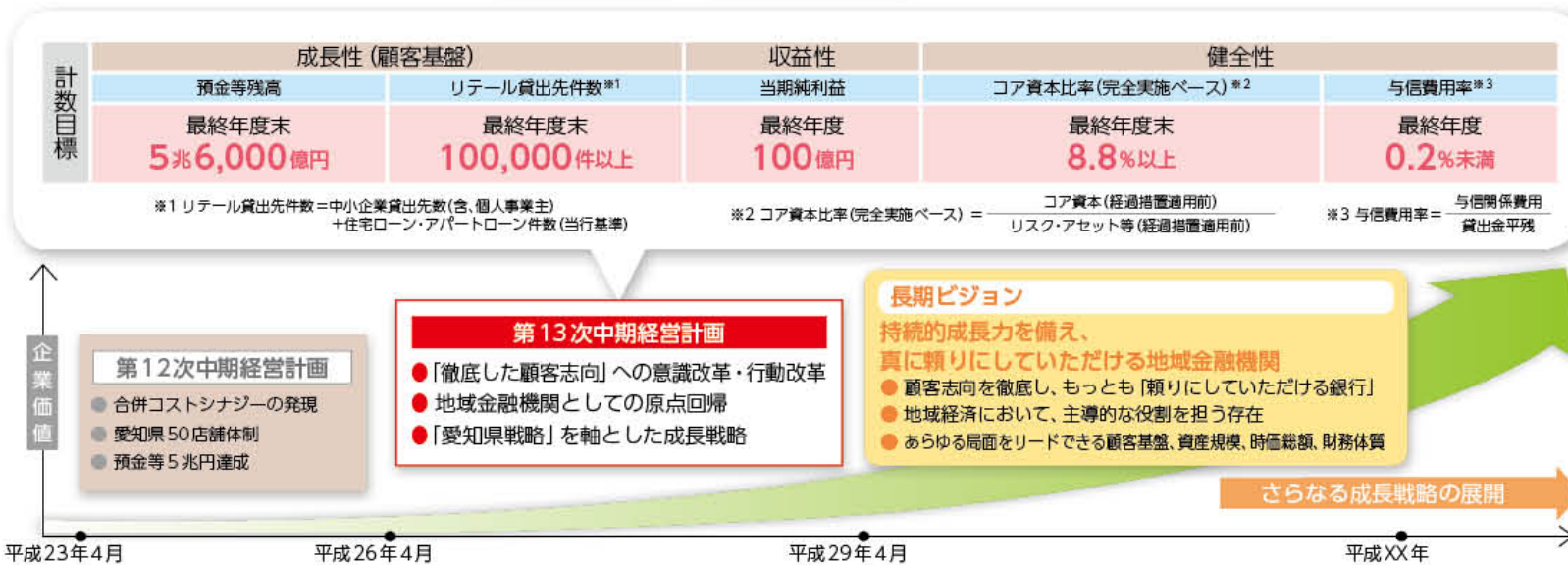
十六銀行グループのご紹介

- 十六ビジネスサービス(株)
事務受託業務
- (株)十六総合研究所
経営相談業務、調査・研究業務
- (株)十六カード
クレジットカード業務
- 十六リース(株)
リース業務、ベンチャーキャピタル業務
- 十六コンピュータサービス(株)
コンピュータ関連業務
- 十六信用保証(株)
信用保証業務

第13次中期経営計画

～All For Your Smile ところにひびくサービスを～

平成26年度から平成28年度までの3か年を計画期間とする「第13次中期経営計画～All For Your Smile ところにひびくサービスを～」に取り組んでおります。本計画においては、「徹底した顧客志向への意識改革・行動改革」「地域金融機関としての原点回帰」「愛知県戦略を軸とした成長戦略」を基本方針に据え、7つの基本戦略である「お客さま起点によるサービスの品質向上」「地域別戦略」「地域密着型金融のさらなる推進」「資金運用力の強化」「経営資源配分の最適化」「人材活用および人材育成」「財務体質の強化および経営管理態勢の高度化」に取り組んでおります。



十六銀行は地域社会の一員として様々な活動を通じて、
地域の活性化やお客さまへのサービス向上を行っています！



十六銀行の海外
ビジネスサポート

十六銀行は、皆さまの海外事業展開を支援いたします。

個人向け休日営業サービス「ホリデーじゅうろく」

平成28年10月、個人向けの休日営業店舗スタイル「ホリデーじゅうろく」が、駅前ターミナルの立地を生かした「ホリデーじゅうろく名古屋駅前」(名古屋駅前支店)でスタートしました。全店のお客さまに気軽にご来店いただける新しいサービスとして、平成28年11月に「ホリデーじゅうろく正木」(正木支店)、平成29年秋頃に「ホリデーじゅうろく岐阜」(岐阜支店)と展開し、お客さまの利便性向上に努めていきます。



より便利に！

いつでもどこでも気軽に予約「ご来店予約サービス」

平成28年10月、当行54店舗において「ご来店予約サービス」を導入しました。本サービスは、お客さまにインターネット(パソコンやスマートフォン)から、事前にご来店を予約していただけるシステムです。いつでもどこでも気軽に予約、待ち時間ゼロのスムーズな手続き、自分の時間に合わせた相談が可能となりました。

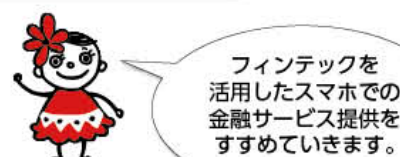


名古屋市内営地下鉄東山線本郷駅北口に「本郷支店」新築移転オープン！

平成28年10月、本郷支店が名古屋市内営地下鉄東山線本郷駅北口に新築移転オープンしました。2階には、本郷ローンサービスセンター(旧：藤が丘ローンサービスセンター)を併設しており、お客さまのニーズに幅広くお応えする店舗としてご利用いただいております。



もっと近くに！



フィンテックを活用したスマホでの金融サービス提供をすすめていきます。

スマホアプリ新サービス「スマートフォン通帳機能」の取扱い開始！

平成28年8月より、スマートフォンアプリで通帳を閲覧できる機能の取扱いを開始しました。いつでもどこでも手軽に出入金明細を確認することができ、通帳紙の画像も自由に変更できます。



企業内保育施設「じゅうろくスマイルルーム」は、笑顔があふれています！

平成28年4月にオープンした企業内保育施設「じゅうろくスマイルルーム」は、今日も元気な声が響き渡ります。15名の定員に対して、平成28年10月現在で10名の子ども達が入園しており、年度内にはほぼ満員となる見込みです。今後とも育児と仕事の両立支援をはじめ、女性の活躍を一層推進していきます。



来店不要！WEB完結型ローン取扱い開始

平成28年5月より、ご来店いただくことなく契約が完了する「かんたんフリーローン(WEB完結型)」の取扱いを開始しました。平成28年10月には、カードローン「Qローン」もお申込みからご契約までインターネットで手続きできるようになりました。お使いみちは、原則自由で、他社からのお借換えや複数ローンのおまとめにもご利用いただけるなど幅広く対応しています。



アジア新興市場の拡大により、お取引先さまの海外販路開拓・海外現地生産への取組みが広がっています。十六銀行では香港、上海、シンガポール、バンコクの4駐在員事務所ならびに11ヶ国にわたる15の提携金融機関による海外サポート体制により、お取引先さまと海外とを結びつける取組みを一層強化してまいります。(平成28年9月30日現在)

「中国ビジネス交流会 in 青島2016」の開催

平成28年7月に中国・青島市において「基幹システム共同化」参加行(常陽銀行、百十四銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループ)と合同で「中国ビジネス交流会in青島2016」を開催しました。第一部では、清華大学・野村総研中国研究センターの松野豊理事・副センター長を講師にお招きしセミナーを行い、第二部では、参加企業間の交流会を開催しました。

香港「Food Expo2016」の開催

平成28年8月に香港貿易発展局の主催によるアジア最大級の食品見本市「Food Expo 2016」が香港にて開催されました。当行は香港貿易発展局と平成28年1月より業務提携を開始しています。本展示会には世界25ヶ国から約1,400の企業や団体が出展し、食品や飲料製品をはじめ、調理器具など食に関連した製品やサービスについてPRがなされました。当行は同展示会に専用の出展ブースを確保し、出展料の半額を補助するなど出展企業のサポートを行いました。

会場(当行ブース)の様子



ベトナムに関するセミナー・交流会の開催

平成28年8月に「ベトナム投資促進セミナー」、9月に「ベトナム投資開発銀行(BIDV)ビジネスセミナー&交流会」を開催しました。「ベトナム投資促進セミナー」では、ベトナムでのビジネスを検討されているお取引先さまを対象に、ベトナムやグアング省(平成27年11月に岐阜県と友好協力に関する覚書を締結)におけるビジネス環境ならびに投資に関する注意点などについて講演を行いました。「ベトナム投資開発銀行(BIDV)ビジネスセミナー&交流会」では、日経グループアジア本社およびAIC Vietnam Co.,Ltd.の講師によるセミナーと参加企業間の交流会を開催しました。



ブラジル銀行およびBanamex(メキシコ合衆国の金融機関)との業務提携

平成28年5月にブラジル最大の商業銀行であるブラジル銀行(バンコ・ド・ブラジル・エス・エイ)、9月にはメキシコの現地金融機関であるBANCO NACIONAL DE MEXICO, S.A., INTEGRANTE DEL GRUPO FINANCIERO BANAMEX(Banamex)と業務提携を行いました。これらの業務提携により、ブラジルやメキシコの経済・投資環境に関する情報の提供や、現地の各種金融サービスの提供が可能となりました。



ブラジル銀行との調印式

「六ツ星観光プロジェクト」始動!! ～地方銀行六行による広域連携～

平成28年6月、経済や物流のつながりが強い東海・北陸の地銀6行(当行、百五銀行、名古屋銀行、北國銀行、福井銀行、富山第一銀行)は、魅力ある観光地域づくりに向けて、「観光」をテーマに広域で連携し、「六ツ星観光プロジェクト」を締結しました。

当行は、東海・北陸地域の5行と連携して、各地域の歴史、伝統、文化、食、地場産業などの「地域の宝物」を、地銀ならではの目利きやネットワークを活用して、新たな観光客を誘致できるようにサポートするなど、地域経済の活性化に寄与する活動をしていきます。



多くの方に、東海・北陸の魅力を知ってもらいたいわ!



連携する自治体へ、専用ローンの取扱いを開始しました。

平成28年9月、高山市との連携協定を皮切りに住宅ローン「移住・定住支援プラン」の取扱いを開始しました。高山市、飛騨市、下呂市、白川村(3市1村)への移住・定住を支援しています。通常の申込条件となる勤続年数等の条件を撤廃し、移住窓口を広げました。

また、平成28年5月には、各務原市と「地方創性『空き家リノベーション事業』」にかかる連携協定を締結し、空き家の借主の方が賃貸物件を自身のライフスタイルに合わせて自由にカスタマイズするための資金として「空き家リフォーム・解体サポートローン(地公体等連携プラン)」の取扱いを開始しました。

当行は、連携する自治体へ専用のローンを提供し、地方創性への取組みを金融商品の分野から支援していきます。



高山市



飛騨市



各務原市



高山市への移住・定住は、十六が応援します!

NPO法人ORGANと「観光地域づくりに関する協定」を締結しました。

平成28年5月、NPO法人ORGANが観光庁より東海圏初の地域連携DMO候補法人に登録されたのを契機に、「長良川DMO」の核となるNPO法人ORGANと連携協力協定を締結し、岐阜県の最重要施策の1つである観光振興に関して、さらに踏み込んだ取組みを行うことで、地方創生の実現に寄与していきます。



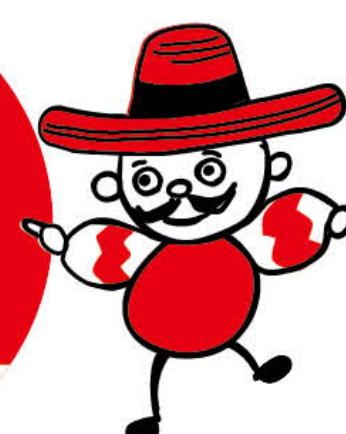
岐阜市川原町 長良川デパート南町



地域の活性化に向けて ともに支える

Local

創生



当行独自の ビジネスマッチングスキーム 「サプライヤー探索サービス」が 好評です!

キラリと光る技術・商材・サービスを持ったサプライヤーを、当行の161店舗のネットワーク網で効率的に探すことができます。平成28年9月30日現在で、商談会の開催件数は延べ161回、延べ商談数は2,500件を突破しました。

特徴的な取組み事例としては、平成28年6月に民間航空機用エンジン事業を切り出した新会社に対し、特長ある技術や商品を有する企業や、航空宇宙産業に参入を希望する企業、計21社が面談しました。当行が重点支援する成長分野である航空宇宙分野での事例です。



商談回数 (平成28年9月30日現在)

	商談会回数	延べ商談数
H23年度	3	31
H24年度	13	180
H25年度	27	399
H26年度	35	465
H27年度	56	937
H28年度(上期)	27	516
計	161	2,528

すごい勢いで商談数が
増加しているよ!



岐阜県の魅力あふれる
こだわりの食材が
集まったのね!



「清流の国ぎふ 食と農の商談会」を 開催しました。

平成28年7月、「清流の国ぎふ 食と農の商談会」をじゅうろくプラザで開催しました。岐阜県と連携して、県内の農産物生産者および食品加工業者と岐阜を中心とするバイヤーを結びつける場を提供し、豊かな食材の魅力発信や販路拡大のサポートを通じて、地域の食関連産業の振興をはかることを目的に開催したものです。

当日は、岐阜県の農産物生産者・加工業者27社がこだわりの食材を品評会の形式で展示を行い、バイヤーが出品商品の味や素材のこだわりなどを評価しました。その後に開催された食品バイヤー14社との個別商談(約100件)では、バイヤーと出展者との熱い商談が行われ、盛況裡に終えました。

なお、本商談会は11月に開催された「第19回全国農業担い手サミットinぎふ」の応援行事として、また、めぐみの農業協同組合との連携協定の一環として開催しました。



品評会形式の展示



めぐみの農業協同組合の出展

十六銀行は、地域密着型金融の取組み等から蓄積してきた創業支援から事業再生までの各ステージに応じた営業支援等の知見やノウハウを発揮し、「地方創生」実現に貢献するための様々な取組みを行っています。

めぐみの農業協同組合との 人材交流を開始しました。

平成28年3月に当行とめぐみの農業協同組合(以下、JAめぐみの)との間で締結した「地方創生の深化に向けた農業振興に関する連携協定」の一環として、平成28年10月よりJAめぐみのとの間で人材交流を開始しました。人材交流を開始することにより、農業振興に関するノウハウを蓄積し、地域に根付いた「農」や「食」の振興に取り組みます。また、農業振興だけでなく、観光や移住定住に関する地方創生につながる各種取組みを実現させていきます。



地方創生に向けて
連携した取組みを
推進しているのね!



「東海地域中核産業支援ファンド」1号、2号出資 中核企業に成長資金を供給しています!

平成28年1月、十六銀行・十六リース・日本政策投資銀行による、東海地域の中核産業支援をはかるため、「東海地域中核産業支援ファンド」を組成しました。

本ファンドは、東海地域の主要産業である製造業の中核企業による、事業基盤の強化、成長・拡大を支援するため、劣後ローンや種類株式(優先株式など)により、通常の融資よりも一歩深い成長資金を供給するものです。

平成28年9月までに、2件、計5億円の投資を行いました。



地域経済の活性化に向けて、
中核企業の取組みを
積極的に支援しているよ。





十六銀行の
CSR

地域社会、地球環境のために、幅広く貢献してまいります。



十六銀行は、幅広い社会貢献活動を通じ、豊かで住みよい地域社会の健全な発展に貢献しているよ。

地域社会のために

卓球部の活躍 ～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子1部チームとして活躍しています。

平成28年度上期は、「前期日本卓球リーグ」で3位入賞、「全日本実業団卓球選手権大会」では10年ぶりの優勝を果たすなど好成績を収めました。

また、個人では今期加入の高橋選手が「前期日本卓球リーグ」で、優秀選手賞および新人賞を受賞しました。

競技活動と併せて、地域主催の卓球教室などに積極的に参加し、卓球競技の普及・レベル向上に努めています。



「じゅうろくカップU-11サッカー大会」の開催

平成28年4月に、11歳以下を対象とした「第9回じゅうろくカップU-11サッカー大会」を開催し、岐阜県内各地区の予選を勝ち抜いた8チームにより、白熱した試合が繰り広げられました。

優勝・準優勝チームには、FC岐阜ホームゲーム「十六銀行サクスマッチ」に招待し、試合前に表彰式を行いました。

公益財団法人十六地域振興財団による地域貢献活動

十六地域振興財団は、地域社会への貢献を目的として設立され、地域における産業振興、社会生活環境の整備、文化・スポーツ・国際交流などの活動に助成しています。

平成27年度は30件、668万円の助成実績となっています。

また返還不要の奨学生支援事業も行っており、平成28年度も16名を採用し、奨学生の累計は148名となっています。

平成28年度奨学生決定証書授与式



「ぎふ清流ハーフマラソン」で市民ランナーの皆さまを応援しました！

平成28年5月に開催された「第6回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」で、当行行員およびその家族が、沿道からランナーの皆さまに声援を送りました。

また、岐阜メモリアルセンターの芝生広場では、地元の高校生と共同でブースを出店し、ラスクの販売と熊本地震募金活動を行いました。ラスクの売上金相当額の一部と皆さまからお預かりした募金は、熊本地震災義援金として寄付しました。



「夏休み親子特別企画」《じゅうろくキッズフェスタ!》の開催

平成28年7月に、当行の粟野研修所にて「夏休み親子特別企画」《じゅうろくキッズフェスタ!》を開催しました。7回目となる今回は、抽選で合計50組100名さまをご招待しました。

実際に店舗で使用している端末機を使用して「通帳作成模擬体験」を行ったほか、「お金に関するクイズ」や「親子で学ぶ金融セミナー」を開催し、お金の大切さや銀行の役割について楽しく学んでいただきました。また、「札勘」や「1億円を持ち上げる」という体験を通じて、夏休みの親子の思い出作りをお手伝いしました。



通帳作成模擬体験



札勘体験

地域に根ざした様々な貢献活動



各地で地域の清掃活動



各地で地域の清掃活動



特殊詐欺防止の呼びかけ

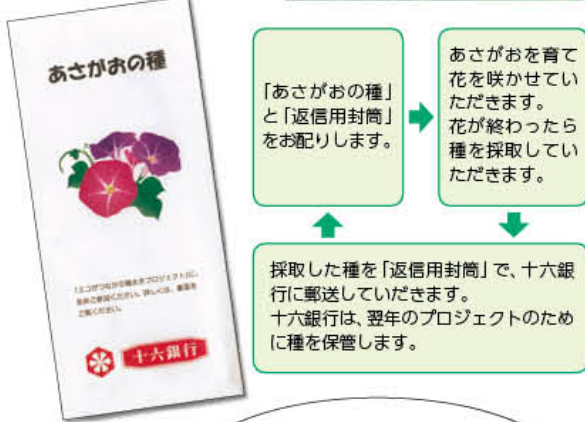


十六銀行は、自ら行う環境保全活動だけではなく、お客さまの様々な環境活動を支援するよ。

地球環境のために

「エコがつながる種まきプロジェクト」《環境保全活動》の展開

当行は、岐阜大学、岐阜市地球温暖化対策推進委員会と連携して、平成26年5月より、「エコがつながる種まきプロジェクト」を展開しています。今年度は、昨年度にお客さまが咲かせて採取したあさがおの約74,000粒の種をお送りいただき、これを岐阜市内の37店舗で配布しました。このほか岐阜市内公立小学校にも協力いただき各校へあさがおの種を配布しました。今後も、このプロジェクトを続け、お客さまとともに環境保全活動を行っていきます。



地域の皆さまのスマイルがもっと増えるように、社会貢献活動にこれからも取り組んでいくよ。

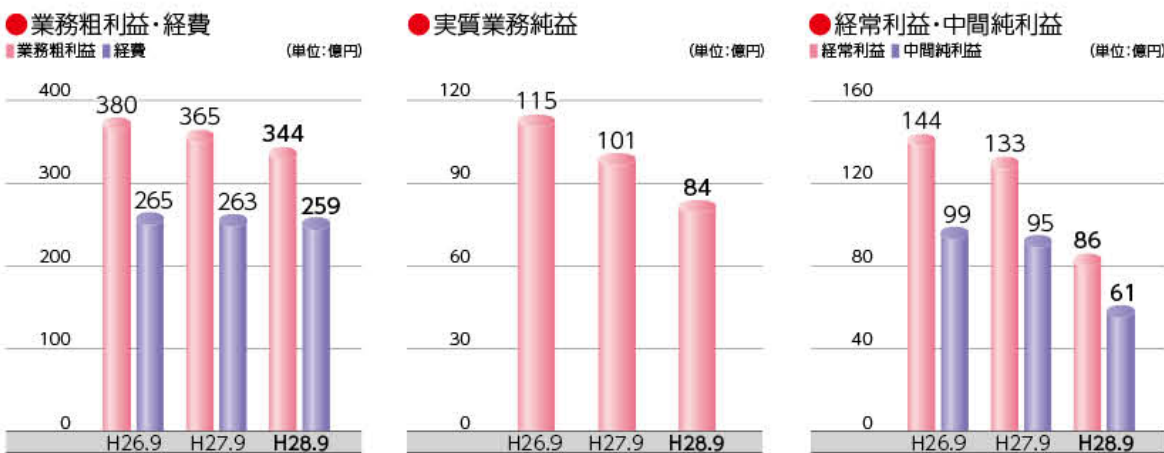


業績
ハイライト

平成28年9月期の決算

経常利益は、実質業務純益が減少したことなどから、前年同期比47億円減少の86億円となりました。

中間純利益は、前年同期比34億円減少の61億円となりました。



貸出金の状況

平成28年9月末の貸出金残高は、前年同期比616億円増加の3兆9,661億円となりました。住宅ローンなどを含む消費者ローン残高は、前年同期比1,208億円増加の1兆5,102億円となりました。



有価証券の評価損益

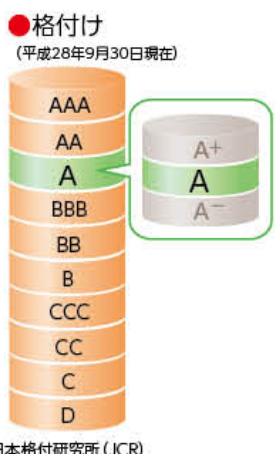
平成28年9月末の有価証券評価損益は+881億円となりました。

平成28年9月30日現在		(単位: 億円)	
評価損益		評価益	評価損
株式	530	558	28
債券	264	277	12
その他	85	127	41
合計	881	963	82

(注) 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

格付け

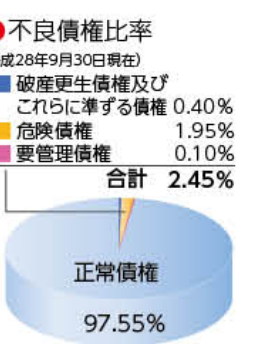
当行は、日本格付研究所(JCR)から「A」格付けを取得しています。



日本格付研究所(JCR)

不良債権の状況

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」に基づく開示債権は、986億円となりました。また、不良債権比率は2.45%となりました。



正常債権 97.55%

連結自己資本比率

平成28年9月末の連結自己資本比率は10.35%と、国内基準の4%を十分に上回っています。



中間連結貸借対照表

平成28年9月30日現在		(単位: 百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	397,326	預金	5,308,478
コールローン及び買入手形	1,000	譲渡性預金	101,413
商品有価証券	859	売現先勘定	240,137
金銭の信託	6,845	債券貸借取引受入担保金	191,273
有価証券	1,855,294	借入金	66,320
貸出金	3,950,810	外国為替	1,545
外国為替	8,015	社債	10,000
リース債権及びリース投資資産	47,291	その他負債	43,041
その他資産	44,324	賞与引当金	1,740
有形固定資産	66,022	退職給付に係る負債	6,637
無形固定資産	9,034	役員退職慰労引当金	6
退職給付に係る資産	398	睡眠預金払戻損失引当金	430
繰延税金資産	669	偶発損失引当金	972
支払承諾見返	18,346	繰延税金負債	15,079
貸倒引当金	△ 35,637	再評価に係る繰延税金負債	7,404
		支払承諾	18,346
		負債の部合計	6,012,828
		(純資産の部)	
		資本金	36,839
		資本剰余金	48,179
		利益剰余金	183,477
		自己株式	△ 1,530
		株主資本合計	266,965
		その他有価証券評価差額金	62,504
		土地再評価差額金	14,675
		退職給付に係る調整累計額	△ 3,520
		その他の包括利益累計額合計	73,659
		新株予約権	90
		非支配株主持分	17,056
		純資産の部合計	357,771
資産の部合計	6,370,600	負債及び純資産の部合計	6,370,600

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで		(単位: 百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常収益	55,905	経常収益	55,905
資金運用収益	30,469	資金運用収益	30,469
(うち貸出金利息)	20,995	(うち貸出金利息)	20,995
(うち有価証券利息)	9,259	(うち有価証券利息)	9,259
役員取引等収益	7,968	役員取引等収益	7,968
その他業務収益	14,670	その他業務収益	14,670
その他経常収益	2,797	その他経常収益	2,797
経常費用	46,201	経常費用	46,201
資金調達費用	2,370	資金調達費用	2,370
(うち預金利息)	1,262	(うち預金利息)	1,262
役員取引等費用	3,348	役員取引等費用	3,348
その他業務費用	9,681	その他業務費用	9,681
営業経費	28,416	営業経費	28,416
その他経常費用	2,384	その他経常費用	2,384
経常利益	9,704	経常利益	9,704
特別利益	0	特別利益	0
特別損失	146	特別損失	146
税金等調整前中間純利益	9,558	税金等調整前中間純利益	9,558
法人税、住民税及び事業税	2,726	法人税、住民税及び事業税	2,726
法人税等調整額	24	法人税等調整額	24
法人税等合計	2,750	法人税等合計	2,750
中間純利益	6,808	中間純利益	6,808
非支配株主に帰属する中間純利益	329	非支配株主に帰属する中間純利益	329
親会社株主に帰属する中間純利益	6,478	親会社株主に帰属する中間純利益	6,478

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細の財務情報は、十六銀行のホームページで公開しているよ。
<http://www.juroku.co.jp/ir/investors/keisan.html>

財務諸表
(単体)

財務諸表
(単体)

第242期中間貸借対照表

平成28年9月30日現在		(単位: 百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	397,304	預金	5,319,019
コールローン	1,000	譲渡性預金	118,913
商品有価証券	859	売現先勘定	240,137
金銭の信託	6,845	債券貸借取引受入担保金	191,273
有価証券	1,859,360	借入金	41,763
貸出金	3,966,196	外国為替	1,545
外国為替	8,015	社債	10,000
その他資産	22,590	その他負債	17,907
有形固定資産	61,351	賞与引当金	1,604
無形固定資産	8,889	退職給付引当金	6,243
前払年金費用	5,144	睡眠預金払戻損失引当金	430
支払承諾見返	17,975	偶発損失引当金	777
貸倒引当金	△ 32,622	繰延税金負債	16,658
		再評価に係る繰延税金負債	7,404
		支払承諾	17,975
		負債の部合計	5,991,653
		(純資産の部)	
		資本金	36,839
		資本剰余金	47,826
		利益剰余金	171,189
		自己株式	△ 1,530
		株主資本合計	254,323
		その他有価証券評価差額金	62,167
		土地再評価差額金	14,675
		評価・換算差額等合計	76,843
		新株予約権	90
		純資産の部合計	331,257
資産の部合計	6,322,911	負債及び純資産の部合計	6,322,911

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第242期中間損益計算書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで		(単位: 百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常収益	42,913	経常収益	42,913
資金運用収益	30,365	資金運用収益	30,365
(うち貸出金利息)	20,936	(うち貸出金利息)	20,936
(うち有価証券利息)	9,226	(うち有価証券利息)	9,226
役員取引等収益	5,777	役員取引等収益	5,777
その他業務収益	3,992	その他業務収益	3,992
その他経常収益	2,777	その他経常収益	2,777
経常費用	34,229	経常費用	34,229
資金調達費用	2,300	資金調達費用	2,300
(うち預金利息)	1,262	(うち預金利息)	1,262
役員取引等費用	3,241	役員取引等費用	3,241
営業経費	26,577	営業経費	26,577
その他経常費用	1,935	その他経常費用	1,935
経常利益	8,683	経常利益	8,683
特別利益	1	特別利益	1
特別損失	146	特別損失	146
税引前中間純利益	8,538	税引前中間純利益	8,538
法人税、住民税及び事業税	2,322	法人税、住民税及び事業税	2,322
法人税等調整額	75	法人税等調整額	75
法人税等合計	2,398	法人税等合計	2,398
中間純利益	6,140	中間純利益	6,140

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

